

今、何の病気が流行しているか！

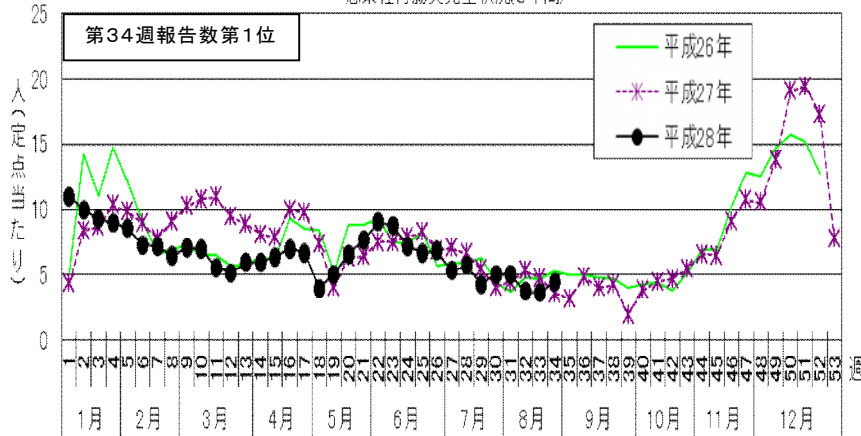
【感染症発生動向調査事業から】

平成28年8月22日（月）～平成28年8月28日（日）〔平成28年第34週〕の感染症発生状況

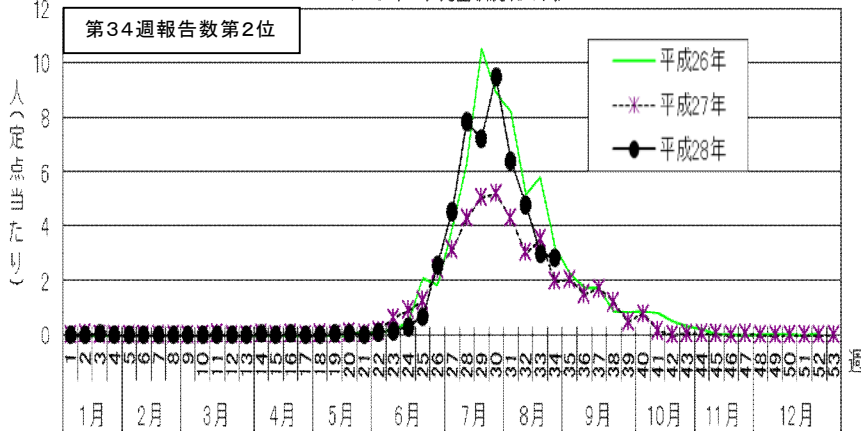
第34週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)ヘルパンギーナ 3)流行性耳下腺炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.44人と前週（3.63人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は2.82人と前週（3.00人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性耳下腺炎の定点当たり患者報告数は1.26人と前週（2.13人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



ヘルパンギーナ発生状況(3年間)



麻しん（はしか）にご注意ください！！

現在、国内では東南アジアなど海外からの帰国者を中心に、麻しん患者が発生しています。非常に感染力が強いため、麻しんに対して免疫のない人が感染すると、ほぼ100%発病しますが、ワクチン接種により予防することが可能です。麻しん・風しん混合ワクチン（MRワクチン）の定期接種が済んでいないお子さんは、早めに接種を受けましょう。

麻しん（はしか）ってどんな病気？

感染経路: 空気感染、飛沫感染、接触感染

潜伏期間: 10～12日（最長21日程度）

症状: 発熱、咳、鼻水など風邪様症状で始まり、2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。

※肺炎や中耳炎を合併しやすく、脳炎など重篤な疾患を併発することもあります。

治療・予防: 対症療法による治療が中心で、ワクチンによる予防が最も効果的です。

定期予防接種対象者（無料で受けられる期間）

- 第1期 生後12月から生後24月に至るまでの間にある者
- 第2期 小学校入学前の1年間（今年度は平成22年4月2日～平成23年4月1日生まれが対象）

全国における麻しん発生状況
-平成27年と平成28年の累積報告数-

